

地熱発電のパイオニア

時代を超えてノウハウ生きる



日重化などが運営する
松尾八幡平地熱

「松尾八幡平」で開花

ぞれ東北電力グループ、熱エンジニアリングの専門スタッフが維持・育成の蓄積があったから地域への電力供給を担っている。

日重化が得意とするのは、地熱エネルギーを取り出す生産井の掘削工事に加え、操業に関するノウハウだ。地熱発電は、

北海道電力が運営。周辺地域への電力供給を担っている。日重化が得意とするのは、地熱エネルギーを取り出す生産井の掘削工事に加え、操業に関するノウハウだ。地熱発電は、

合金鉄メーカーの日本重化学工業（日重化、本社・東京都中央区、社長・角掛繁氏）は地熱発電のパイオニアだ。1966年に発電を開始した日重化の商業地熱発電所、松川地熱発電所（岩手県八幡平市）を手掛けたことで知られている。合金鉄製造には欠かせない電力の安定調達策の一環として、早くから地熱関連のノウハウを蓄積。昭和時代には松川地熱発電所のほか、森発電所（北海道・森町）などを開発したが、地熱に関するノウハウを生かすため、地

熱水からなる地熱流体が溜まっている地熱貯留層（C）が出資参加した。普及が課題となる中、ベ

6年に発電を開始した日重化の商業地熱発電所、松川地熱発電所（岩手県八幡平市）を手掛けたことで知られている。合金鉄製造には欠かせない電力の安定調達策の一環として、早くから地熱関連のノウハウを蓄積して、早くから地熱関連のノウハウを蓄積してきた。

のノウハウを蓄積。昭和時代には松川地熱発電所のほか、森発電所（北海道・森町）などを開発したが、地熱に関するノウハウを生かすため、地

た。両発電所は現在、それぞれ東北電力グループ、熱エンジニアリングの専門スタッフが維持・育成の蓄積があったから

は、地熱エネルギーを取り出す生産井の掘削工事に加え、操業に関するノウハウだ。地熱発電は、

11年10月、日重化グループ、JFEエンジニアリングが出資する「岩手地熱」が発足した。同社量は相当する電力を周辺

取り出して発電に利用する。高温・高圧の蒸気と発、エネルギー・金属鉱る。

本初の商業地熱発電所、熱水からなる地熱流体が溜まっている地熱貯留層（C）が出資参加した。普及が課題となる中、ベ

松川地熱発電所（岩手県八幡平市）を手掛けたことで知られている。合金鉄製造には欠かせない電力の安定調達策の一環として、早くから地熱関連のノウハウを蓄積して、早くから地熱関連のノウハウを蓄積してきた。

のノウハウを蓄積。昭和時代には松川地熱発電所のほか、森発電所（北海道・森町）などを開発したが、地熱に関するノウハウを生かすため、地

た。両発電所は現在、それぞれ東北電力グループ、熱エンジニアリングの専門スタッフが維持・育成の蓄積があったから

は、地熱エネルギーを取り出す生産井の掘削工事に加え、操業に関するノウハウだ。地熱発電は、

11年10月、日重化グループ、JFEエンジニアリングが出資する「岩手地熱」が発足した。同社量は相当する電力を周辺

